

PCUHD & HiFC

グランスター
Granster
Series

会心作の「Granster」シリーズに 待望のスピーカーケーブル、誕生。

オーディオ・マニアに捧げる新体感パフォーマンス。ピュア&ダイナミック伝送による圧倒的なエネルギー感。

最高級の「Grandio」に近づいた「Meister」として開発された「Granster」。

そのクオリティで高い評価を獲得した第一弾のインターコネクトケーブルについて、スピーカーケーブルの新たな次元を拓く「6NSP-Granster 7700a」の登場です。

2種の革新線材「高純度無酸素銅・PCUHD」「高機能純銅線・HiFC」と独自のハイブリッド技術。オーディオの世界に新風を巻き起こした「Granster」シリーズ。

「ゾトーンはケーブルの代名詞」と言われる理由の一つは、ケーブル作りの核となる線材が他の追随を許さないことにあります。この背景にあるのは「素材の純度がすべてに優先する」という理念。この理念なしでは出会えなかったのが2種の革新線材です。一つは、原材料の介在物／不純物の混入を徹底的に管理して鑄造した古河電気工業株式会社の高純度無酸素銅「PCUHD」。もう一つは、高純度銅6N(純度99.9999%)に匹敵する軟化温度、優れた導電性、耐屈曲疲労特性等を持つ日立金属株式会社の「高機能純銅線・HiFC」。しかし、素材だけがゾトーンの独自性ではありません。素材をどう昇華させるか。ゾトーンには長年の研究と実績の蓄積による独自のハイブリッド技術があります。これもまた、ゾトーンがケーブルの代名詞と言われる理由です。その最新の成果が「Granster」シリーズ。ヒット製品のインターコネクトケーブルにつづくシリーズ第二弾の「6NSP-Granster 7700a」は、そのデビューが待ち望まれていた新開発のスピーカーケーブルです。

「6NSP-Granster 7700a」は「Granster」シリーズの最上位モデル。ゾトーンならではの発想力・企画力・技術力の結晶です。

ゾトーンには数々のスピーカーケーブルがあります。それぞれが傑出した性能と個性で、多くのオーディオ・マニアから信頼されています。でも、可能性にチャレンジするのがゾトーンの姿勢。新しい素材を独自のハイブリッド技術で開発したら、従来にないケーブルが完成するのではないかと。サジ加減で大きく変化するハイブリッド。ゾトーンには長年にわたるノウハウと実績による黄金比があります。その発想力・企画力・技術力を結集した最新作の「6NSP-Granster 7700a」は、高純度6NCuを中心にPCUHD、HiFCを含めた4種素材をハイブリッドした新導体を採用。さらに、ダイナミックで圧倒的なエネルギー伝送、かつ高解像度が持ち味の4芯構造は、4芯のうち2芯同士を振り接続するシングル方式(スターカッド)と4芯それぞれを高域用、低域用に分けて使用するバイワイ

ヤリング方式の接続が可能。また、1芯あたり3.1スケアの極太サイズであり、シングル接続では6.2スケアというコアのキングサイズ化も実現します。

聴き惚れる。身を乗り出す。感嘆する。愛聴ディスクの再生で、「6NSP-Granster 7700a」が「想像を超えた音」と実感するでしょう。

オーディオ・マニアの想像を超えたスピーカーケーブルを作りたい。ゾトーンの出発点は、いつも“その先”“その奥”を意識することから始まります。それは、シリーズ名も物語っていること。「Granster」は2つの言葉からの派生語です。「壮大な、雄大な」を意味する「Grand」。「立体音像、立体音響」を意味する「Stereo」。「名は体を表す」ではありませんが、「Granster」はその名のとおり、クラスという枠を超えたスケールの大きいパフォーマンスが身上です。あたかもスピーカーの周囲から飛びかかってくるような音の立体感。迫力あるエネルギー感。高解像度が可能にした端麗な音場感。魅了される単音の写実感。高速レスポンスならでは中低域の力感。しかし、そうした特性だけを誇るわけではありません。それらが醸し出す音楽の芸術性こそ、最大の魅力です。ゾトーンにとって性能とは、感動に直結しているのです。「6NSP-Granster 7700a」は上位機の次元に肉迫するスピーカーケーブルです。

※「PCUHD」は古河電気工業株式会社の登録商標です。※「HiFC」は日立金属株式会社の登録商標です。

6NSP-Granster 7700a [10月下旬発売予定]

6N・4種新ハイブリッド、シールド付4芯特大バイワイヤ対応スピーカーケーブル
完成品(Y/B端子付2.0m×2) ¥68,900(税別) JAN 4580365067840

※標準完成品はシングル仕様となります。バイワイヤリング仕様については特注にてお受け致します。

※標準完成品以外の長さは1.0mより0.5m間隔にて特注でお受け致します。

※端子種別はご注文時にご指定いただきます。(例:アンプ側/Yラグ、スピーカー側/バナナプラグ)

切売り(1.0m) ¥7,000(税別) JAN 4580365067697 / 40mリール ¥280,000(税別) JAN 4580365067703

※切売りは端子別売りとなります。推奨端子:(シングル接続時) LUG-Y-8.5、LUG-B-8.5(バイワイヤリング接続時) LUG-5.5シリーズ

●導体構成:超高純度6NCu、高機能純銅線HiFC、高純度無酸素銅線PCUHD、高純度無酸素銅OFC ●構造:高純度4素材によるハイブリッド多芯集合アイソレート方式による独自のDMHC-Quadri構造 ●導体サイズ:3.1スクエア×4 ●外部ジャケット:透明で鮮やかなブルー。強固に締めて振動を与えぬ構造 ●絶縁体:高純度ポリエチレン ●シールド:アルミラップシールド ●介在:天然綿糸 ●外径:14mm ●端子(標準完成品のみ):厚手のロジウムメッキによるオリジナルY・B端子付、精密で高品位なネジ止め設計。

ゾトーン初の電源ボックスは、 ハイエンド・オーディオ・ファイルを唸らせました。

じっくりと練り上げ、満を持して登場した前作「ZPS-6000」は、またたく間にヒット製品となりました。それは、ハイエンドのオーディオ・ファイルがいかにトップエンドの電源ボックスを希求していたか、その証左とも言えるでしょう。ゾトーンは電源ケーブルの名品を数多く世に送り出してきました。それだけに、オーディオ・システムやAVシステムにおける電源経路の重要性を熟知しています。しかし、並のグレードの電源ボックスを創ることは、ゾトーンの仕事ではありません。だから、時間や労力を惜みず、開発に努めたのです。電源ボックスはアクセサリを超えて、コンポーネントとして存在しなければならない。この考えのもと、ゾトーンの信条であり、独壇場でもある究極の“ピュア&パワー”を電源ボックスにも全面的に踏襲。それがトップエンドという評価に結びついたのです。

完成間近な「ZPS-4000」も、 上位機ゆずりのアルミダイキャストの筐体です。

もう少し、気軽に手にできる電源ボックスが欲しい。ゾトーンの耳に入ってくるユーザーの声は、ゾトーンのチャレンジ精神を奮い立たせてくれます。上位機「ZPS-6000」に負けぬ電源ボックスを完成させる。それは、けっして容易な開発ではありません。でも、やり甲斐のある開発です。そこで、いま完成を目指して着々と開発中の「ZPS-4000」にも上位機と同様、筐体にアルミダイキャストを採用しています。電源ボックスにとって

重要なのは、安定感に欠けないこと、鳴きが生じないこと。アルミダイキャストは剛性が高く、振動に強くて堅牢であり、シールド効果にも富んでいます。それがサウンドのクオリティにも直結。これは、すでに上位機で立証されています。

素材にこだわった贅沢な内部配線も、 上位機にひけをとりません。

上位機の「ZPS-6000」と同様、内部配線にも贅を凝らしています。電源ボックスのために設計した超高純度6NCu、高機能純銅線HiFC、純銀コートOFC、高純度無酸素銅の4種をハイブリッドした3.5スクアの導体を内部配線として採用。また、エネルギー伝送での微細な変化を避け、ピュアな伝送を目指すためにノイズフィルターやコンデンサー類は一切使用していません。さらに、コンセント、インレットには24K金メッキを採用。すべて“クオリティ最優先”に徹しています。S/N感がよい。情報量が多い。ワイドな音場感。低域が伸びて、力感がある。こうしたゾトーンならではの成果は、より音楽の「感動」を深めてくれるでしょう。

ZPS-4000

高純度素材4種ハイブリッド・3.5スクア導体・4口・ハイエンド電源ボックス

¥89,000(税別) 予価 JAN 4580365069011 ※電源ケーブルは付属しておりません。

●筐体:アルミダイキャスト ●配線材:超高純度6NCu、高機能純銅線HiFC、純銀コートOFC、高純度無酸素銅OFCの4種類をハイブリッドした3.5スクアの導体を採用 ●インレット:3Pタイプ(金メッキ)/アウトレット:3Pタイプ2口(金メッキ)×2個(合計4口) ●許容電流値:15A(125V) ●サイズ:180mm(W)×120mm(D)×50mm(H)

★今しばらく、お待ちください。[11月下旬発売予定]

まもなく誕生。 トップエンドの血統を受け継ぐ電源ボックス。

ゾトーンはユーザーの要望に耳を傾けました。
電源ボックスにも究極の“ピュア&パワー”を実現した、
あの「ZPS-6000」の弟機です。

取扱販売店

Zonotone

製造販売元:株式会社 前園サウンドラボ

〒164-0001東京都中野区中野1-28-11 TEL:03-5386-5031 FAX:03-5386-5032
<http://zonotone.co.jp/>